

東アジアにおけるバイオマスタウン構想普及支援事業

背景・目的

＜我が国のバイオマスタウンの取組＞

- 「バイオマス・ニッポン総合戦略」に基づき、
- 地域の様々なバイオマスを総合的に利活用する「バイオマスタウン」構築を推進
- アジア地域のバイオマス利活用に関する事例調査・情報交換・手引書作成等を実施

＜バイオマスの持続的な利活用に対する国際的な要請＞

- 地球温暖化や原油高騰等を背景としたバイオマスへの高い注目
- 東アジアは、バイオマスが大量に賦存する一方で、有効活用されておらず、総合的・効率的に利活用する取組への支援が必要
- FAOハイレベル会合、洞爺湖サミット等を踏まえた、食料価格高騰や環境・気候変動問題に対する途上国への支援が必要

H21.2現在
163市町村
が公表



**日本発の「バイオマスタウン」の取組を発信し、
食料供給と両立する持続的バイオマス利活用システムを
東アジアへ普及**



事業内容

20年度

21年度

22年度

基礎調査

現地調査
実施地区選定

人材育成

対象者
選定

日本での
研修・視察

構想策定

現地でのタウン作成研修
地域住民への周知

各国の実情に
応じたタウン構想
のあり方検討

モデル地域における
タウン構想に向けた
人的ネットワーク構築

現地でのタウン作成研修
地域住民への周知

モデル地域で実際にタウン構想策定
さらなる人的ネットワークの拡大

海外版
バイオマスタウン
のモデル構築

持続可能な農業・
農村開発の実現

地球温暖化防止への貢献

新たなバイオマス利活用
プロジェクトの創出
(技術協力、共同研究、CDM等)

【20年度事業委託先】

株式会社エックス都市研究所

【今年度の予定】

20年11月下旬～12月上旬 現地基礎調査

21年2月下旬～3月上旬 国内研修の開催(研修及びバイオマスタウン視察)

**我が国のバイオマス利活用
の知見により、東アジアの農
山漁村の活性化や世界的な
地球温暖化防止に貢献**